

上原木呂展

2023.10.28(土) - 12.17(日)

9:00-21:00(12月は19:00まで)

月曜、11/7・24休館

〈会場:砂丘館・観覧無料〉

2023.11.25(土) 14:00-15:30

対談:巖谷國士・上原木呂

「精神の森を旅する」

参加料1,000円・定員40名・要申込

申込・会場:砂丘館 tel.fax.025-222-2676

yoyaku@bz04.plala.or.jp

※申込受付開始(tel.fax.メールとも)

10/18(水)9:00~・お名前、連絡先(電話番号)、人数を添えお申してください。

*いただいた個人情報はこの催しに関するご連絡以外に使用しません。

主催:砂丘館



上原木呂と「薬研付喪神圖」2023年 墨、和紙 300×400cm

妙光寺第11回浄土講座

巖谷國士 講演会 「人間にとって 庭園とは何か」

2023.11.26(日)

14:00-15:30

〈会場:角田山妙光寺〉

参加料1,000円・定員80名・要申込

(申込方法は上記対談と同様です)

主催:砂丘館・角田山妙光寺

協力:新潟フランス協会



庭には、自由への、秘密の入り口がある

妙光寺庭園

上原木呂(うえはら きる):1948年新潟県生まれ。東京芸術大学出身。若くして瀧口修造と出会い、シュルレアリスムの洗礼を受ける。その後イタリアに在住中、コンメーディア・デラルテ(イタリア古典仮面喜劇)を学ぶ。帰国後、新潟を中心にコラージュ作品を発表。2010年「上原木呂とマックス・エルンストーシュルレアリスム東と西」(ドイツ・レーゲンスブルグ市立美術館)を開催。近年の展示に「上原木呂の妖怪学校」(2019年 中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム)、「BOROと水墨抽象とヤブレカブレ」(2020年 ギャラリーみつげ)など。

巖谷國士(いわや くにお):フランス文学者・批評家・写真家・旅行家・明治学院大学名誉教授。1943年東京都生まれ。祖父はメルヘン作家・俳人・俳画家の巖谷小波。1960年代からシュルレアリスムの研究と実践で知られ、第一人者とされる。文芸・美術・映画・漫画などの批評、紀行・庭園論・都市論、講演、写真、美術展監修など活動は多岐にわたり、それぞれの分野で専門性の有無を問わず幅広く支持を集める。近年ではX(旧Twitter)上での読者・フォロワーも多い。(X ID:@papi155920) 著書に「シュルレアリスムとは何か」[封印された星:瀧口修造と日本のアーティストたち]「森と芸術」[幻想植物園]「旅と芸術 発見・驚異・夢想」[ヨーロッパ100の庭園]「フランス 庭園の旅」[イタリア 庭園の旅]「マン・レイと女性たち」[瀧澤龍彦論コレクション]全10巻など、訳書にプルトン「シュルレアリスム宣言・溶ける魚」[ナジャ]、エルンスト「百頭女」、ドーマル「類推の山」など。

同時開催 NSG美術館

上原木呂 付喪神と妖怪画展

2023.10.28(土) - 12.17(日)

10:30-18:00(入館は17:30まで) 月曜休館

観覧料:一般300円・学生200円・高校生以下無料

NSG美術館:新潟市中央区西船見町5932-561 tel.025-378-3773

砂丘館:新潟市中央区西大畑町5218-1 tel.025-222-2676

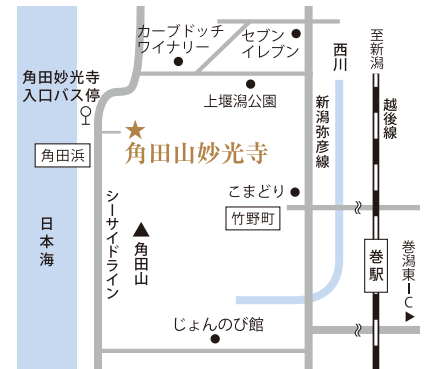
新潟駅万代口から浜浦町線C2系統バス、観光循環バス

「西大畑坂上」下車徒歩1分 ※駐車場はありません。

角田山妙光寺:新潟市西蒲区角田浜1056 tel.0256-77-2025

巻駅、越後曾根駅からタクシー15分・巻湯東ICから車で25分

巻駅前から「角田妙光寺入口」バス30分



砂丘館(旧日本銀行新潟支店長役宅) 指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体

〈私たちは砂丘館を応援しています〉

新潟らしき株式会社 NSGグループ 新潟ビルサービス 丸屋本店 藤田金属 WIND 郷土の文化に親しむ会 書齋gallery 片桐奈保美 田中太一